

2024年 保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日： 2024年12月26日

事業所名：運動遊びと療育支援 こどもプラス三郷中央教室

対象人数（保護者）27人 回答者数 24人 回収 88.9%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	教室からのコメント
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	1	1		・狭い ・相談室に仕切りがあった方がいいです。	・用具入れなどの見直しをして、運動をできる場所を確保していきたいと思います。仕切り板の検討をしていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21	2		1	・その日に子供の出席人数に対して職員が何人なのかを分かりやすくしてくれないとこの質問の返答が難しい	・県が定める人員配置基準では、保育士または児童指導員の配置が2名以上となっています。法人としては、より手厚い支援をおこなうため、児童2名～2.5名に対し職員1名を配置するようにしています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	1		2		・掲示物等で視覚でもわかりやすく表示をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	2				・1日2回の清掃で清潔を保っています。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24					・研修を行い日々自己研鑽に努め、ミーティング等で話し合いをし、支援を行っています。
	6 事業所がホームページで公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	1				・研修等を行い、日々研鑽を積んでおります。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24					・保護者からのヒヤリングをもとにミーティングを行い児童発達支援管理責任者と共に考えております。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22			2		・ミーティングでいろいろな方面から話し合い作成しております。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24					・児童発達支援計画を基に、職員で話し合いの時間を設け、必要な支援を行うようにしております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24				・イベント等企画して工夫されていると思います。外出するときは楽しそうです。	・その日のリーダーが工夫しているメニューを考えている。室外のイベントも取り入れ、様々な体験ができるよう考慮しています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	15	2	3	4		・より多様な関わりと活動の場を検討して参ります。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24					・契約の際にご説明させていただいております。また、連絡帳（HUG）などを利用して伝えています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24					・児童発達支援管理責任者から説明をしています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	1		2		・懇談会などを開き、場を設けています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	24					・送迎時や連絡帳でお子様の様子を聞いたり話すように努めております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	2				・モニタリングの際や、何かがあれば都度時間を設けてお話をさせていただいております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23				1	・利用者様の立場になって支援ができるように心がけております。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	4	1	9		・懇談会の開催を増やす方向で検討していきます。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1		2	・フィードバックがないこともある。	・フィードバックがなかったこと、大変申し訳ございません。今後は最後まで真摯に対応していきます。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24					・常にコミュニケーションをとるよう心がけ、いつでも話ができるような状況をつくるようにしています。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24					・都度ラインやHUGを用いて連絡しております。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	2		2		・書類などは鍵のかかる書棚に保管しております。	
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22			2		・ミーティングの時間を活用し、共有訓練をおこなっています。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24					・訓練期間を設け、利用者様全員に訓練に参加していただけるようにしております。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	1				・室内の環境については、月1回の安全点検に加え、日々危険な箇所がないか安全に努めております。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	2				・状況に応じ電話等を用いすぐに連絡をしています。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	23	1			・先生方がとても愛情を持って接してくださるので安心しているようです。	・いつも笑顔で迎えられるよう明るい雰囲気作りを心掛けています。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	22	2				・こどものワクワクや知りたい気持ちを大切にしています。
	29 事業所の支援に満足していますか。	23			1	・今後放課後等デイサービスに通いたいと考えていたが、定員数で難しいとのこととても残念に思う。 ・療育に通って、子供自身とても成長してると感じますし、安心できる場所が一つでも多くあると親としても嬉しい限りです。ありがとうございます☺	・お子さまの成長の支援をさせていただき、ありがとうございます。お子さまの笑顔に私たち職員はいつも元気をもらっています。悩むことがありましたら、一緒に考え、これからお子様にとって最高のサポーターであるよう努めて参ります。

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名 運動遊びと療育支援 こどもプラス三郷中央教室

公表日 2024年12月26日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員10名に対し、指導訓練室が40㎡以上確保できているか	7		こどもが居心地のいい環境作りをしている。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		基準に遵守している。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	目で見分けるように絵カードを用いている。 シンプルを心がけ、療育に集中できるようにしている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日2回の清掃を行っている。 こまめな温度、湿度調整をしている。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	完全な個室はないが、他児からは見えない場所があり、クールダウンなどはその場所で行っている。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		月1回の職員会議で行っている。 必要な時には都度時間を設けて話し合っている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者の意向があれば、職員同士で共有し改善に向けて話し合っている。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		朝礼、昼礼、会議など話し合い共有の時間を設けている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	指摘されたことがあればすぐに改善に努めている。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		FC研修などを受講し会議で内容を共有している。
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		個別支援会議を行った後、児発管が作成したプランをもとに療育を行っている。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		保護者とモニタリングをなどを通し同じ方向に向かって行けるように作成している。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		モニタリングの前に会議の中で個別支援検討会議を行っている。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		朝礼昼礼、ミーティング等で共有し支援を行っている。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		HUGを用い日々の活動の記録をしている。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具	7		各領域ごとに計画書に記載している。

提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		学校の授業プログラムに合わせて、職員間で話合っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		リーダーを毎回変え、工夫をしながら考えている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		一人ひとりの目標と、集団の中での目標を話し合い状況に合わせて支援を行っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼、昼礼を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		必ず共有する。 休んでいた職員には次の日などに共有する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		HUGを用い日々の活動の記録をしている。 職員間の連絡ノートなどにも記入している。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		気になったことがあればすぐに話し合いの場を設けている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児発管筆頭に保育士や、理学療法士の視点を取り入れている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	保育所等訪問支援を行っている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	送迎の際に児童の様子などを伝えるようにしている。 必要に応じて連携を取っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	気になる子や保護者の要望に応じ行っている。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1	地域の支援センターの相談員の方と連携を図りアドバイスなどをもらっている。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	送迎の際に近況などを聞き、必要に合わせて話す時間を作っている。
31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		年1回保護者会を設け、情報共有や、育児相談を行っている。	
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		HUGの連絡帳を用い活動様子を伝え、送迎の際にも伝えている。
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		モニタリング際に細かく話を聞く様になっている。
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		児発管が行い、一つ一つ丁寧に説明し、わからないことがないようにしている。
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		必要に応じて、面談相談を受け対応している。

保護者への説明等	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。			年1回の保護者会を設けている。 保護者が参加できるイベントを行っている。
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		その都度対応している。
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		ブログ等を活用している。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報などの書類は鍵付き書棚で保管している。
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		慣れがある時もあるので気をつけていきたい。
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	プライバシーの観点から難しい所もあります。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		ミーティング等の時間で行っている。
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		備蓄品なども定期的に確認を行っている。
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		保護者からの情報を共有している。
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	おやつ提供などがなく、食する機会がない。
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		月1回安全点検を行っている。
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		お便りSNSでの発信をしながら、周知している。
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		小さなことでも報告書を書き、都度共有し、月1回の会議で改めて確認をしている。
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		会議内で時間を設け研修し、広い視野でみるように心掛けている。
50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		明記している。	